【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2020-19913(P2020-19913A)
【公開日】令和2年2月6日(2020.2.6)
【年通号数】公開・登録公報2020-005
【出願番号】特願2018-146487(P2018-146487)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　3/12　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　65/46　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　65/40　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　3/12　Ｚ
Ｃ０８Ｇ　65/46
Ｃ０８Ｇ　65/40

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月27日(2021.5.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電解質ポリマーの重合溶液を、前記重合溶液の溶媒よりも前記電解質ポリマーの溶解性が低く、かつ前記重合溶液の溶媒と混和可能な貧溶媒中にストランド状に押し出す押出工程と、押し出されたストランド状電解質ポリマーを機械的に切断してチョップドストランド状電解質ポリマーとする切断工程を、インラインで連続的に実施することを含む、精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項２】
前記切断工程の後に、前記チョップドストランド状電解質ポリマーを前記貧溶媒中で保持したまま、前記チョップドストランド状電解質ポリマーに含まれる前記重合溶液の溶媒と前記貧溶媒との溶媒交換を促進する溶媒交換工程を有する、請求項１に記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項３】
さらに、前記チョップドストランド状電解質ポリマーと前記貧溶媒とを固液分離する固液分離工程を有する、請求項１または２に記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項４】
前記押出工程の開始から前記切断工程における切断までの時間が２秒以上である、請求項１～３のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項５】
前記断工程後のチョップドストランド状電解質のアスペクト比が５以上６０以下である、請求項１～４のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項６】
前記切断工程における切断時のストランド状電解質ポリマーの破断応力が８０００Ｎ／ｍ２以上、６００００Ｎ／ｍ２以下である、請求項１～５のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項７】

前記貧溶媒に、電解質ポリマーの重合溶液に含まれる不純物を溶解可能な精製助剤が含まれる、請求項１～６のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項８】
前記電解質ポリマーが炭化水素系電解質ポリマーである、請求項１～７のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項９】
前記電解質ポリマーの分子量が５万以上である、請求項１～８のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法。
【請求項１０】
請求項１～９のいずれかに記載の精製電解質ポリマーの製造方法により得られた精製電解質ポリマーを該電解質ポリマーの良溶媒に溶解した高分子電解質組成物を製膜する、高分子電解質膜の製造方法。